



KOREC

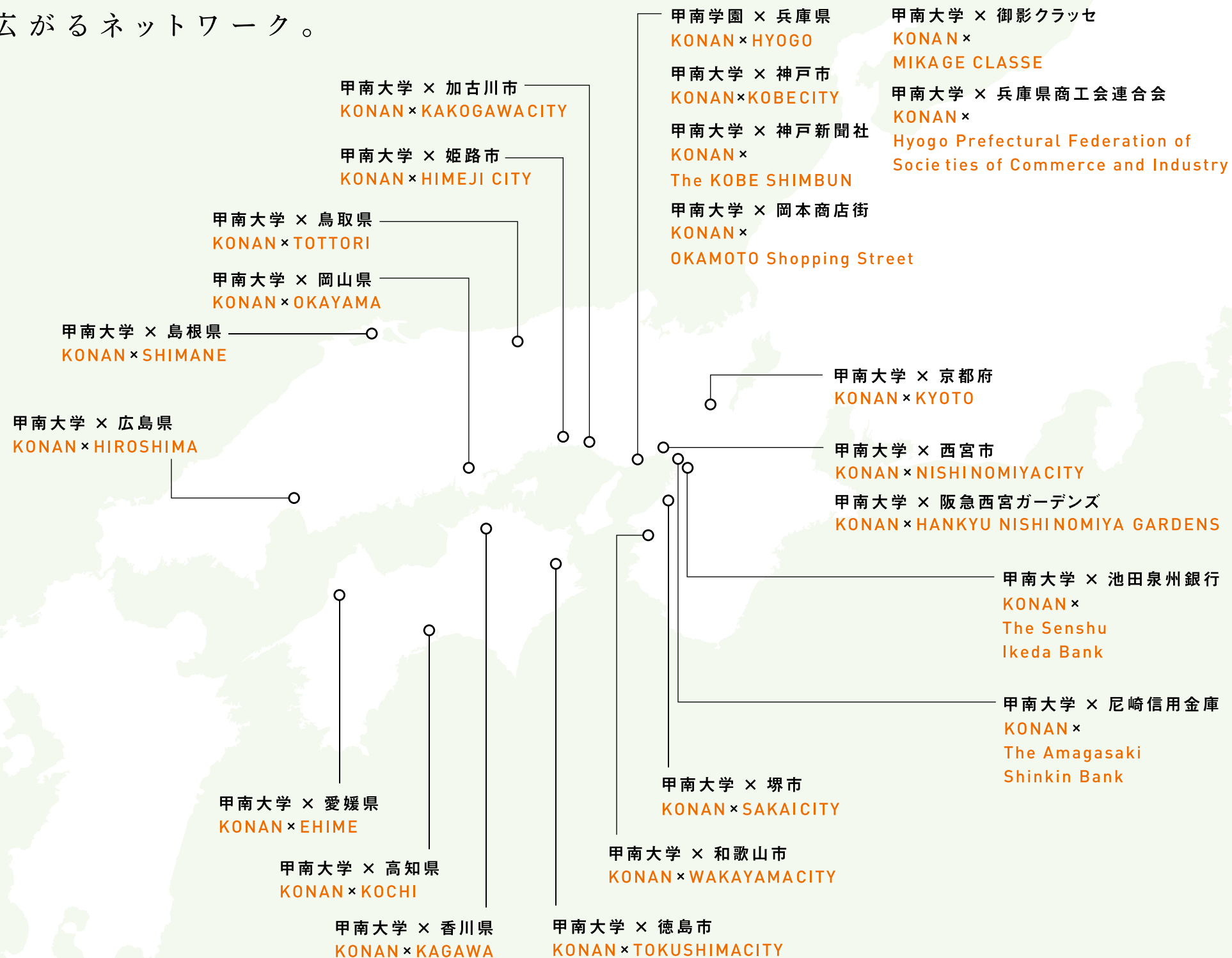
「自分らしい」は、変えられるらしい。

Change

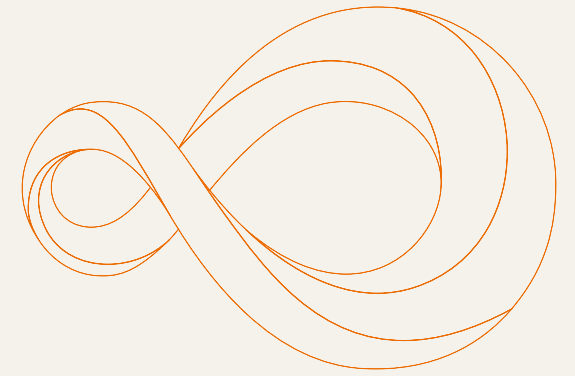
WHAT IS KOREC

KONAN University Regional Liaison Center

つながる絆、
広がるネットワーク。



包括連携・地域連携・就職支援協定等の締結先



人間的な成長を実現する、 そのチャンスとなる地域連携。

地域連携センター（KOREC）は2011年の開設以来、おもにボランティア活動の推進や地域連携を通じた教育プログラムの開発に取り組んできました。KORECがこうした活動をおこなっている理由は、大学というものが知的プラットフォームとなることで地域の産業やコミュニティの発展を支援したいという想いです。さらにもうひとつの理由は、地域連携の現場は学生たちの学びの場として有益で、「人物教育のクオリティ・リーダーをめざす」という本学の教育ビジョンを実現するための舞台になると考えているからです。大学における学部学科での学びにより、専門的な知識や技能を身につけることができますが、より幅広い常識や素養を身につけてこそ社会人として認められるのです。学生のみなさんには、地域連携センターを通じてボランティア活動や地方自治体・企業との連携プロジェクトに参加することで、ぜひともそうした社会人として必要な能力を身につけてほしいと思います。

Pick up

Volunteer Activities

ボランティア活動について

多彩なボランティア情報のなかから、
貴重な出会いの待つ活動がきっと見つかる。

甲南大学と地域をつなぐ窓口である地域連携センターには、さまざまなボランティア情報が集まります。いままでボランティア経験がない人でも気軽に参加でき、自分の興味に関連のある活動はもちろん、将来にも役立つような体験に出会うこともできます。

volunteer activity

01



文学部 社会学科 1年生

大山 まちさん

青少年会館 ～会館フェス～

イベント運営を通じてさまざまな人との交流を体験。



神戸市青少年会館が開催する音楽イベント「会館フェス」にボランティアとして参加しました。中高時代に吹奏楽部だったので音楽関係のイベントということに興味をもち、友人も誘って参加したんです。当日は100席以上あるステージで司会や誘導を担当すると同時に、会場内の体験ブースでハーバリウムオイル作りのワークショップも実施しました。開催までの期間は3ヶ月ほどで、限られた予算の中で試作をしたり当日用の材料を準備するなど、とても貴重な経験ができました。他大学の人たちとアイデアを出しあいながらの活動だったので、知り合ったばかりのメンバーと上手くコミュニケーションする練習にもなったと思います。青少年会館という存在を初めて知ったのですが、わたしも将来は青少年の居場所をつくるような仕事がしたいと考えるようになりました。

volunteer activity

02



文学部 社会学科 2年生

中安 彩富さん

のびのび運動ひろば in しあわせの村

子どもたちと向きあうことで芽生えた積極性と責任感。



保護者の方が成長に不安を感じている子どもたちとペアを組み、けんけんやジャンプなどかんたんな運動を通じてやる気をもたせ、自信をもってもらう「のびのび運動ひろば in しあわせの村」に参加しました。元気な子、人見知りな子、さまざまな個性にあわせた接し方が必要で、最初はうまく関われませんでした。マンツーマンで接しているうちに自然とコミュニケーションがとれるようになりました。わたし自身が積極的なタイプではなく、思っていることをあまり伝えられない性格でしたが、この活動を通じて自分の意見や考えを表現できるようになりました。子どもにとって頼れる人がわたしだけという状況で、自分の中の責任感にも気づくことができました。中学校の教員をめざしているので、これからも社会と子どもたちに関係した活動を続けていきたいと思っています。

※学年は撮影時のものです。

volunteer activity

03

チーム・ニュービー・サンタ

地域のニーズを知り、思いに応える。

「クリスマス会にサンタさんが来てほしい」—そんな地域のニーズに応えるため、東灘区社会福祉協議会と連携し、甲南大生がサンタクロースになりきって東灘区内の児童館を訪問。子どもたちに夢を届けるとともに、世代間交流や地域とのつながりを持つきっかけとなる活動です。



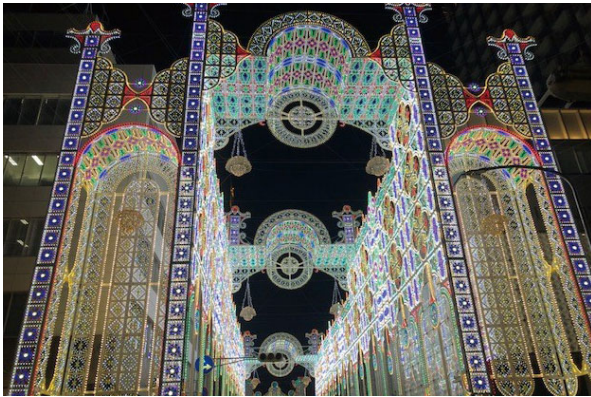
volunteer activity

04

神戸ルミナリエ

明かりを灯し続けるための募金活動で、
人の温かさに触れる。

阪神・淡路大震災をきっかけに始まった神戸ルミナリエでは、明かりを灯し続けるために1人100円募金活動を行っており、甲南大生も呼びかけ活動に参加しています。訪れた方々から時には励ましの言葉も受け、神戸ルミナリエ開催を支える人々の想いを感じながら活動することができます。



volunteer activity

05

岡本一斉クリーン作戦

街の美観づくりを通じて、
地域の人々とコミュニケーション。

甲南大学では学生自治会が中心となり、地域の方々と共同で、岡本地域の清掃活動をおこなっています。地域の方々と世代を超えたコミュニケーションを通じて、人と人との信頼関係づくりのたいせつさ、日頃何気なく通っている街や通りにも暮らす人々の深い想いや愛着があることに気づかされ、地域とのつながりを再確認できます。



ボランティア活動実績(例)

主催団体等	イベント・プログラム名	分類
はぐねっと♡ひがしなだ	小学生の学習支援	子ども・青少年
東灘こどもカフェ	「こどもカフェ」運営・学習支援	子ども・青少年
ふかえ大敬老会実行委員会	「ふかえ大敬老会」運営	福祉
放課後等デイサービスえびす	放課後等デイサービスの活動支援	子ども・福祉
兵庫県学生献血推進協議会	献血推進活動	保育・医療
NPO法人ひがしなだコミュニティメディア	インターネット放送局「メディアろっこう」	地域社会
多文化共生センターひょうご	「多文化フェスティバル深江」運営	教育・文化スポーツ
NPO法人DeepPeople	「関西SDGsユースアクション」運営	教育・文化スポーツ
フォレスター松寿	森づくり活動	環境
NPO法人チーム御前浜・香榎園浜づくり	ビーチクリーニング	環境

※他にも年間通して様々なボランティア情報を発信しています。

Pick up

Cooperation with Partners

学・産・官 連携プロジェクト

大学という枠を超えよう！ 甲南大学ならではの地域連携

甲南大学は、地方自治体、コミュニティ、企業などと連携協定を結び、学・産・官が協力しあいながらの社会貢献活動を積極的に推進。これにより、学生たちが参加できる地域活動の舞台がますます拡大しています。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

関西湾岸SDGsチャレンジ

WHAT is project

甲南大学 × 朝日新聞社 ×
神戸市・堺市・和歌山市・徳島市・岡山市

「関西湾岸SDGsチャレンジ」で 甲南大生が地域課題の解決に貢献。

この地球に暮らすすべての人々が平和と豊かさを享受できるよう、2015年に国連が掲げた「SDGs」という国際目標。甲南大学では早くからこの精神に賛同し、朝日新聞社とともに「関西湾岸SDGsチャレンジ」というプロジェクトを推進してきました。各地の自治体と連携して、持続可能な社会を実現するための提案に学生たちが取り組んでいます。



毎年高い評価を獲得している、 学生ならではの視点と発想。

2022年度も神戸市、堺市、和歌山市、徳島市、岡山市の協力のもと、現地の高校生と甲南大生が協働して課題解決に挑戦。各地でフィールドワークを行い、対面のミーティングだけでなく、オンラインツールも活用しながら作りあげた提案を、自治体の方々にプレゼンテーションしました。学生ならではの柔軟な視点や発想から生まれたアイデアには実現可能性の高いものも多く、高く評価されました。

with Partners

01 甲南大学×東京海上日動×神戸市



甲南大学と東京海上日動火災保険・神戸市が 共同で中学生に「ぼうさい授業」を実施。

東京海上日動火災保険のCSRの取り組みの一つである「ぼうさい授業」を神戸市立魚崎中学校の2年生を対象に実施。神戸市職員にもアドバイスを受けながら、防災に関するワークショップに取り組みます。2022年度は「災害時、中学生ができること」をテーマに「ハザードマップ」を利用して危険箇所や災害時の備えについて学び、「避難所体験ワーク」・「防災バッグを使用したワーク」を通して、避難所生活の課題について考える授業を実施しました。

with Partners

02 甲南大学×広島県三原市



市のシティプロモーションと連携し、 学生たちがPR。

広島県との協定締結を機に三原市との連携プロジェクトがスタート。2022年度は「女性が活躍できるまち三原」プロジェクトと題し、市内で暮らし、活躍する女性にスポットをあてPRするための動画を作成。市役所の方々と地元メディアのサポートを受けながら、どうすればより効果的、かつ魅力的に発信できるかを考え取り組みました。完成した動画は、三原市内で開催した発表会でお披露目し、高い評価を得ました。

with Partners

03 甲南大学×加古川市



自治体や地元企業と連携しながら、 地域の課題解決策を公開プレゼン。

甲南大学と加古川市は2017年に包括連携協定を締結したことを機に、神戸新聞社の協力も得て、「加古川『知』を結ぶプロジェクト」を共同で企画・運営しています。本企画は加古川市や市内企業・団体が抱えている課題を、本学の学生たちが調査・研究し、具体的な解決策を提案するものとなっており、課題提供先に加え加古川市長の前でプレゼンテーションを行います。学生ならではの目線・斬新なアイデアによって、地域の更なる活性化に繋がることを目的としています。

with Partners

06 甲南大学×神戸新聞社



専門力と発信力の連携で、 経済や文化をさらに活性化。

甲南大学では、地元メディアである神戸新聞社と連携して地域貢献のさまざまな取り組みがおこなってきましたが、2016年の包括連携協定をきっかけにこの関係をさらに強化。神戸市内での取り組みだけでなく、2017年度からは神戸新聞社が手がける姫路市における地域プロジェクトにも協力。広く兵庫県内を舞台とし、協働で地域貢献活動をおこなっています。

with Partners

04 甲南大学×みなと銀行×芦屋市



産学官金連携による小学生向け 金融教育ツールの開発。

甲南大学、みなと銀行、芦屋市の連携で2022年度から企画運営しています。学生たちが「あしやキッズスクエア（放課後こども教室）」で子どもたちと触れ合うなかで、どのようなツール（ゲーム）が遊ばれ学びに繋がるかを検討します。スタートアップ支援をおこなうアドリブワークスの協力を得て実践的に進めており、試作品発表会は金融情報専門ウェブサイトに取り上げられました。また、小学生を招いた試遊イベントには他市の担当者が視察に来るなど注目が高まっています。

with Partners

07 甲南大学×岡本商店街



地元商店街で、 人とまちのつながりを探る。

甲南大学と岡本商店街振興組合は、人材の育成とまちづくりの推進などを目的として「地域の連携協力に関する協定」を締結。地域振興を目的とした共同での商品開発やイベントの企画、商店街をフィールドとした調査研究などを実施しています。

with Partners

05 甲南大学×鳥取県



多彩な働き方に触れて キャリア形成の重要性を学ぶ。

甲南大学は、2019年に鳥取県と就職支援協定を締結し、鳥取県と連携してキャリア教育に取り組んでいます。UIターンを経て、豊かな自然や人間関係のなかで新しい働き方を実現したり、仕事を通じて地域づくりに貢献している人々を学生が訪ねて、その魅力や課題をインタビューします。さらに、フィールドワークで得た学びを、同年代の若者に伝えるための企画を鳥取県に提案します。学生は、就職活動に留まらない、長期的なキャリア形成の重要性を学んでいます。

with Partners

08 甲南大学×御影クラッセ



イベントや広報誌の企画で、 地域貢献に新たなカタチを。

阪神御影駅前にある商業施設「御影クラッセ」と連携し、甲南大生が主体となった活動＜ACT＞を展開。施設内でJAZZ研や軽音楽部のライブステージや、留学生によるハロウィンイベントなどを開催し、その活動を地域に発信するための広報誌「みかげの輪」も発行しています。学生たちの柔軟な視点や発想を生かした活動は、今後も地域に新たな活力をもたらしていきます。

KONAN Premier Project

地域と繋がる活動助成金プロジェクト

学生ならではのアイデアをカタチにし、地域貢献として実現するチャンス。

地域連携センターでは、学生たちが自ら企画する活動も積極的にサポート。KONANプレミアプロジェクトの「地域と繋がる活動助成金プロジェクト」を活用すれば、地域貢献のためのアイデアを助成金によって実現することも可能です。

Premier Project 01

FCN (Farmer's Community in Nishinomiya)

授業でのアイデアが採用され、実際にカタチにすることに挑戦！

FCN (Farmer's Community in Nishinomiya) というチームで、トマト栽培のトライアルキットを農家に提案し、試食会や懇談会の開催を通して地域活性化に繋げる活動をしています。きっかけは、2年時の農業フィールドワークという授業の最終発表で、栽培キットの提供を提案した際に、農家の方から「是非実際にやってみたい」と要望をいただいたことです。担当の先生からも「助成金制度を利用して挑戦してみても」と後押しされたこともあり、活動をスタートさせることになりました。この他にも、三田の黒枝豆を名産として広める親子食育農業イベントを開催。公民館や小学校への案内や地域情報サイトでも告知を行い、集まった親子に黒枝豆について知ってもらい、収穫し、実際に食べる体験をしていただくことができました。



マネジメント創造学部 3年生

本田 万葉さん

マネジメント創造学部 3年生

秋田 菜緒さん

ハードルを越えるたび、身についていく企画力と実行力。

助成金の申請にあたっては、申請資料なども自分たちで作成する必要があったので想像以上に大変でした。費用や宣伝方法などをもっと具体的にと修正を求められたりしてかなり苦労しましたね。とはいえ、トマトの苗の発送費用やイベント会場費などで多くの経費が必要だったため、助成金なしではとても実現できませんでした。イベント集客の難しさや、新たなコミュニティとの関係づくりなど課題も多有りましたが、一つ一つクリアしていく過程で企画力や実行力が身についたと思います。なにより、農家をはじめとする地域の人々と強いつながりをもてたこと、黒枝豆イベントに参加してくれた親子の素敵な笑顔を見られたことは得難い経験でした。授業を超えた活動を通じて、大きなやりがいを感じることができました。

Premier Project 02

課外活動団体ACT 光フェスティバル 2021 ～ ランタンの明かりで笑顔の輪を ～

【2021年度採択】



ランタンの光が地域の人々に
笑顔を灯すクリスマスイベント。

コロナ禍で不安な日常でも心温まるクリスマスを、との願いから御影クラスセとの共催でスタートした「光」フェスティバル。地元の幼稚園・保育園の園児たちが制作したランタンを飾る「ランタン×キャンドルナイト」は毎年多くの人々に笑顔を灯しています。

Premier Project 04

ふれあいまつり2016

【2016年度採択】



心のこもった手づくりイベントで、
地域の子育てをサポート。

「ふれあいまつり2016 in 甲南大学」は、ダウン症の子どもたちとその保護者の方々を岡本キャンパスに招待して開催されたイベント。遊具からお菓子まで、すべてが学生の手づくりで、子どもたちに外で遊ぶ機会を提供し、おなじ境遇の保護者同士のコミュニケーションをサポートしました。

Premier Project 03

つながりの輪

【2019年度採択】



和太鼓の演奏を通じて
障がい者と健常者の距離を縮める。

和太鼓同好会「甲(きのえ)」がおこなう、障がいを持つ子どもたちを含めた小学生に伝統芸能である和太鼓を教え、障がいに関係なく交流できる「つながりの輪」という活動が助成金プロジェクトに採択され、子どもたちが使用する和太鼓の道具を新調・修理することに役立てられました。

Premier Project 05

歴らば 地図班篠山プロジェクト

【2015年度採択】



篠山藩青山家に伝わった、
貴重な古文書を解明。

文学部歴史文化学科の学生と教員による「歴らば(歴史文化らば)」の地図班が、篠山市教育委員会の所蔵する「青山家文書」の絵図を調査・整理しました。これにより17世紀後半の淀川水系や大阪湾沿岸を描いたものなど、貴重な絵図の存在が判明。郷土史研究の発展に寄与するという形で地域貢献をおこなっています。

※学年は撮影時のものです。

KONAN Certificate

KONANサーティフィケート

自主的に取り組むボランティア活動。 その努力を大学として評価し、1～3級を授与。

授業の枠を超えて活動する学生たちの努力を評価するKONANサーティフィケート。
そのなかには、もちろんボランティア活動に関する部門もあります。
ボランティアや地域活動によって社会で必要な知識・能力を身につけたことが認定され、
1級から3級までのサーティフィケートを取得することができます。

LET'S CHALLENGE!

企画から参加した地域交流イベントで、 課題の解決にも取り組む。

御影クラスセでのクリスマスイベント「光」フェスティバル2022に企画運営スタッフとして携わりました。今年で3年目を迎えるこのイベントは幼稚園や保育園で子どもたちに作ってもらったランタンをLEDライトで照らす「ランタン×キャンドルナイト」がメインのプログラムで、わたしは1年時から当日ボランティアスタッフとして参加していたんです。今回はリーダーとして企画立案から担当することになり、まずは現状の課題を確認することからスタート。いままで紙で作っていたランタンをリサイクルできるペットボトルに変えたり、自分が作ったランタンを子どもたちが見つけやすいような配置や高さに変更したり、いろいろと工夫しました。トラブル発生時の対処など反省点も多かったですが、綿密に企画し、実行していくことの重要性をあらためて学びました。



文学部 社会学科 3年生

川村 美夢さん

サーティフィケートをゴールにせず、 さらに続けていきたいボランティア活動

その他の取り組みとしては「硯水 2022」にも参加しています。これは灘の酒文化を発信する冊子「硯水」の編集プロジェクトなんですが、このなかで「樽廻船」や「宮水と伏水の比較」の記事を担当しました。さまざまなボランティアや地域連携プロジェクトに参加するようになったきっかけは高校時代に熊本地震や西日本豪雨の災害ボランティアに参加したことです。活動中に地元の方々とあたたかい交流ができた経験から、大学でもボランティア活動を続けようと考えていました。折角活動するのであればKONANボランティアサーティフィケート1級取得を目指そうと思い、取り組んできましたが、「自分のやりたいこと」がそのままボランティアだったので、挑戦するにあたって大変さはあまりありませんでした。1級取得で終わりではなく、ボランティア活動はずっと続けていくと思います。

サーティフィケートの仕組み



授与される認定記念バッジは認定ごとに3種類



〔1級 ゴールド〕 〔2級 シルバー〕 〔3級 ブロンズ〕

KOREC Student Group

地域連携センターのもと活動する学生団体

自治体等との連携プロジェクトに参加する学生以外にも、地域貢献・ボランティアを目的として、地域連携センターのもとで活動する学生団体に所属する学生たちがいます。それぞれが目的に向けて、精力的に活動しています。

KOREC学生コーディネーター 「なんティア」

「なんティア」とは、甲南（こうなん）×ボランティアの略称からきたグループ名で、地域連携センター（KOREC）の学生コーディネーターとして、KORECの教職員と協力しながら、学生と地域団体とを繋ぐボランティア活動に取り組んでいます。「地域に関わってみたい」「さまざまな人とのつながりを広めたい」といった思いを持ちながらも、その一歩を踏み出す勇気がないという学生を一人でも減らせるよう、なんティアが「勇気」や「気づき」を提供する方法を検討・実施しています。メンバー自身が実際に活動することに加え、学生と同じ目線という最大の強みを生かして、ボランティア・地域連携活動に関する情報発信・相談等を通して、魅力を伝える役目を担っています。



ACT地域広報グループ

甲南大学は、連携協定を結ぶ御影クラスセと共に、地域活性化を目的とした取り組み（名称：ACT）を継続的に実施しています。そのACTを地域に発信することを目的に立ち上がったのがACT地域広報グループで、発足から12年が経ちました。年に3回の広報誌「みかげの輪」の発行に向けて、取材、編集、デザイン等を行うほか、自分たちでイベントを企画実施することもあります。

